







平和とは何か

弥富中学校 森 蒼太郎

【被爆の悲惨さ】

原子爆弾は第二次世界大戦時に、世界で初めて使われてアメリカが広島県 に落とした核兵器です。原爆が投下された時、広島市には市民や軍人など合 わせて約35万人がいたと考えられています。原爆によって亡くなった人の数 は約14万人と、広島市全体の2/5が失われています。

【平和記念資料館】

平和記念資料館では実際に被爆した人が着ていた服や原爆が落とされた後 の広島の写真などが展示されていました。それらはとても痛ましかったです。 資料館にはほとんどの物が実物で置いてありました。

資料館を見学した後は、戦争がどれだけ恐ろしいことで、今がどれほど平和なのかを改めて実感しました。

【広島に投下された原爆】

ウラン 235 が臨界量以上になると 100 万分の 1 秒という、ごく短い間に核分裂連鎖反応が起こり、膨大なエネル ギーが一度に放出されました。アメリカは原爆をつくるため「マンハッタン計画」というプロジェクトを始めて、たくさんの お金を使いました。多くの科学者が参加しました。

【広島研修を終えて】

二日間の広島研修を通して、日常生活では知れなかったことを多く学ぶことができました。戦争時は、今当たり前の ことが当たり前でないことを知りました。

【私たちが考える平和とは】

原爆ドームを見たときはここで多くの人々の命が失われたことを実感しました。戦争は関係の無い人々まで巻き込む 恐ろしいものです。しかし今、世界では絶えず内戦や紛争が続いています。

さらに世界で核弾頭の数は 12.512 発でそのうち 3.844 発がすぐ使えるようになっています。

日本で戦争を経験した人達が減ってきているので次の世代に核や戦争の恐ろしさを自分達が伝えていく必要があり、 世界にも伝えていく必要があると思いました。それが私たちにできて、世界の平和につながるのではないでしょうか。

広島平和学習

弥富中学校 吉田 陽哉

【原爆ドーム】

現在、原爆ドームと呼ばれている建物は、大正4年に広島県の物産品の販 売を図る拠点とすることを目的として建てられた「広島県物産陳列館」という名 称でした。その建物は、チェコ人の建築家ヤン・レツルが設計し大胆なヨーロ ッパ風の建物で、広島県の一つの名所となりました。しかし、原爆の炸裂によ る熱線と爆風によって、建物は、大破・全焼し中にいた人は全員亡くなりまし た。しかし垂直方向からの圧力に強かった部分の一部が残りました。



【なぜ原爆が投下されたか】

アメリカは、原爆の開発が進む中で日本への使用を検討しました。昭和 20 年春以降、日本の戦況が、圧倒的に不利 の中アメリカは、長引く戦争を終結させるための手段として原爆を使用しました。広島に投下された理由は、7月末に広 島、小倉、新潟、長崎に絞られ、8月2日には、優先順位は、広島、小倉、長崎の順になりました。アメリカが知る限 り小倉には、捕虜収容所があり、広島にはなかったことから広島が第一目標となりました。そして、1945年8月6日 午前8時15分広島市上空で、原爆(リトル・ボーイ)が投下されてしまいました。

【広島研修を通して】

僕は、今回の広島研修を通して、今、自分が当たり前のようにできている、食事など生活に大きく関わることが、こ の戦争時では、当たり前ではないということを学ぶことができました。また、戦争時の街の様子などは、今の日本では 考えられないぐらいの状態になっていたということも、広島研修を通して心に残りました。

【僕たちが考える平和】

僕が思う平和というのは、世の中で戦争など争いがないことはもちろん、学校生活の中でもみんなが相手の気持ちを しっかり考えた、行動や発言をして嫌な気持ちをしている人が少なくなることが平和だと思います。





筆者名など

市役所図書館☎65-1117



野上 優佳子/著



首木の民/ 誉田 哲也 著



ことばのはじまり!!語源大図鑑 青山 由紀/監修

図書名 ●いますぐできる実践行動経済学 大竹 文雄 ●お腹が弱い人のための30秒腸活 小林 弘幸 ●Mizuki流ホットケーキミックス最強レシピ Mizuki ●鉄道業界のしくみとビジネスが

これ1冊でしっかりわかる教科書 枝久保 達也 ●オパールの炎 桐野 夏生

●ガザ日記 アーティフ アブー サイフ

●知ると楽しい!和菓子のひみつ「和菓子のひみつ|編集部

■開館時間 火・水・木・金曜日 午前 9 時~午後 7 時 土・日曜日、祝日(月曜日を除く)午前 9 時~午後 5 時

よつば読書会

- ●と き 9月14日(土) 午前10時~正午
- **しところ** 弥富まちなか交流館 2 階 (ミーティングルーム)
- ●テキスト 「102歳、一人暮らし。」(石井 哲代/著) ☆一冊の本をみんなで読み、意見を述べ合いな がら、読書の領域を広げていきましょう!!!

おはなしの会

- ●対象者 小学校低学年まで
- ●と き 9月7日(土)、21日(土) 午後3時~3時30分
- ●内 容 絵本や紙芝居の 読み聞かせ
- ■対象者 0歳から3歳くらいまで
- ●と き 9月28日(土) 午前10時~10時30分
- ●内容 絵本やわらべうたによる 親子のふれあい
- ●ところ 図書館 おはなしのへや ●ところ 図書館 おはなしのへや

ガイドボラシティアが体験した

伊勢湾台風から 9月 26日で65年が経過しま す。このコーナーでは、現在ガイドボランティアとして活躍しているメンバーの被災体験 を紹介します。

● 忘れられない職場のあたたかさ

当時は名古屋で仕事をしていた。午後5時前に近鉄名古屋駅から満員の最終電車に乗 ったが、動いては止まって 1 時間近くかかった。

翌日は朝起きて一面海のようでビックリ。即席のイカダを作り近所の様子を見に行っ たら、名鉄尾西線は自分の背丈くらいまで、関西線(現在のJR)弥宮駅や銀座通りは家の 軒先近くまで水深があった。近鉄弥富駅では、昨日自分が乗ったと思われる電車が水の 中にあった。

職場には3カ月ほど出勤できず、連絡もできず無 断欠勤となってしまった。それなのに、水が引いて ようやく電車が動くようになり出勤したら、皆が 「無事でよかった! |と歓声をあげてくれた。

泥水との戦いは大変だったが、それだけで十分 苦労が報われたと思った。職場の人たちに本当に 可愛がってもらったという記憶が、いまだに心に 残っている。

(古田淳)



広報やとみ 2024.9

広報やとみ 2024.9